

講義コード	25468032
担当者	猪野 弘明 教授
研究題目	応用ミクロ経済学

### ゼミの目的

ミクロ経済学は経済学の中心理論であり、繰り返し学習して身につけることによって、社会の様々な問題を経済学的に思考することが可能になる。本ゼミの目的は、こうしたミクロ経済学の理論と応用を勉強し、経済学的思考力を身につけた人材を輩出することである。また、経済学的思考力を身につけた証として、卒論を書くことを義務とする。

### ゼミの進行予定

本ゼミでは、まず中級のミクロ経済学のテキストを、その現実的な意味を吟味し、現実問題への応用を議論しつつ読んでいくことによって、経済学的な思考力を養うための土台作りをする。ミクロ経済学の各トピックの理解を深めることが目的であるため、進度は受講者の理解・要望に合わせて決めるが、テキスト学習の目安は2年後期～3年前期である。具体的には以下のテキストを使う

- 奥野正寛（編著），猪野弘明他 『ミクロ経済学』（東京大学出版会，2008）
- 奥野正寛（編），猪野弘明他 『ミクロ経済学演習』（東京大学出版会，2008）

こうして、一通りの経済学的思考方法が身に付いた後には、ゼミ生の興味に従って、現実の社会の様々な問題（市場の問題・公共の問題・環境の問題など）について調査しつつ、経済学的な議論の仕方を具体的に学んでいく。この過程の目安は3年前期～3年後期であり、途中インゼミ大会に向けてのグループ学習も利用する。4年の初めまでに個人ごとに卒論のテーマを決めてもらうため、これら議論の積み重ねから「興味のあるある程度絞られたテーマ」を見つけ出し卒論につなげていくことが望ましい。

4年生は、それぞれが定めた卒論テーマに従って、卒論を完成させていくための指導に1年間を費やす。

### ゼミの運営方針

本ゼミは経済学の理論とその応用力を少しでも身につけて大学を卒業したい、または大学院等に進んでさらに経済学を習得する可能性も探りたい、というやる気のある学生に向いている。

### 選考方法

現在在外研究中で米国にいるため（秋に帰国予定）、面接は開くことができない。このため選考は志望理由書と成績などの書類審査のみによって行う。説明会も開くことができないので、私の情報については、経済学部HPの教員紹介を参照してほしい。

受け入れ条件		志望理由書
担当者のプロフィール	専攻	応用ミクロ経済学・産業組織論・環境経済学（理論分析）
	現在の研究テーマ	技術革新・知的財産・競争政策・循環型社会（理論分析）
	所属学会	日本経済学会， American Economic Association， Royal Economic Society